

No.135
北本市



議会だより

令和8年（2026年）2月1日発行

編集／議会広報広聴委員会

発行／北本市議会（北本市本町1-111）

Tel 048-591-1111 Fax 048-591-6335

URL <https://www.city.kitamoto.lg.jp/shigikai/index.html>



くなんだかんだ地元だいすき@きたもと2031 (20) 🔍 ☎ 三



もう2031年か、早いねー



2026年にソーシン（総合振興計画）が始まって、
もう5年だね～北本も結構変わったね



駅前の賑わい行った？ちょっと気になってる



先週行ったよ～
一人でも気軽にいいし、初めて会った人とも気軽に話せるし、居心地いいよ✌️

最近北本に戻ってきたけど、なんか前より明るくなった??
新しいお店も増えて、まちを歩くの楽しい♪
北本のこと色々教えて😊

(入力中・・・)

特集

第六次北本市総合振興計画前期基本計画

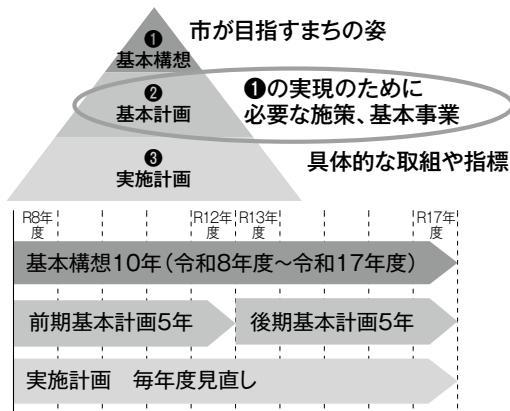
5年後のこのまち、
もっと好きになれる予感がする。



6人の会派代表が
質疑を行いました

総合振興計画前期基本計画について

「第六次北本市総合振興計画 前期基本計画」を可決



基本構想は、市が目指すまちづくりの方向性を示すもので、令和8年度から10年間の計画期間を設定しています。前期基本計画は、基本構想で位置づけたまちの将来像を実現するための施策や基本事業で、令和8年度から5年間の計画となっています。

基本構想は、市が目指すまちづくりの方向性を示すもので、令和8年度から10年間の計画期間を設定しています。前期基本計画は、

「第六次北本市総合振興計画 基本計画」を全会一致で可決しました。総合振興計画は、「基本構想」を頂点とする3層構造となり、今回可決した「前期基本計画」は、その中間に位置する重要な役割を担っています。

「第六次北本市総合振興計画 基本計画」を全会一致で可決しました。総合振興計画は、「基本構

指標と目標値の精度は担保されているか

みらい

工藤日出夫



Q1 前期計画は各種統計やアンケート結果等により裏づけられているが、基本事業の指標と目標値の精度は担保されているか

A1 施策の成果指標は基本事業の取組や指標の状況により効果を測るものです。5年後を見据えて設定していますが可能な限り精度を高めています。

重点事業の位置づけとその実効性は

清和会

岡村有正



Q 前期基本計画での重点基本事業の選定基準、位置づけとその実効性をどのように担保するのか

A1 ヒトやカネ等の資源は有限ですので、社会環境の変化の中で対応が求められているもの

①市民要望や時代の要請で注力して取組が求められているもの等、今後5年間を見据え、全109事業の中からより資源を注力すべき30事業を定め、重点基本事業としています。

前期基本計画は、今後5年間の行政施策の指針となるものですので、定めた重点基本事業を踏まえ、ヒトやカネ等の資源を有効かつ適切に配分し、計画期間の事業執行の効果を高めることで、将来を見据えたまちづくりを推進します。

誰にとってもやさしいまちづくりの実現を

日本共産党

湯沢美恵



Q1 総合振興計画審議会やパブリック・コメント等の意見・答申を取り入れた基準や方針は

A1 いただいた意見を可能な限り取り入れる姿勢で検討すること、意見を採用できない場合は市の立ち位置や考え方を明確にすることを共有し検討を行い、計画を取りまとめる部署においても全体的な統制の視点から確認を行いました。

Q2 基本事業の市内公共交通の確保について、第五次計画と同様の対応では大幅に減便となつた路線バスの取組が読み取れないが

A2 市内公共交通の確保、特に路線バスの維持・確保は重要な課題と認識しています。地域にとつて望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにする地域公共交通計画を策定する中で、路線バスの維持・改善についても課題解決に向けた施策等を定めます。

質疑

「議案第74号」第六次北本市



第4回定例会では、慎重な審議のため、この前期基本計画（議案第74号）のみをピックアップし、12月17日に質疑、討論、採決を行いました。

今回の特集では、会派代表質疑（2・3ページ）、討論（4ページ）の主な内容をご紹介します。

人口減少やデジタル化の進展など、社会情勢が激しく変化する中で、この先5年間の取組が本市の未来を大きく左右します。議会としても、計画に掲げた施策が着実に実行され、市民の皆様の暮らしの向上につながるよう、しっかりとチェックしていきます。

誰も取り残さない
社会に向けて

緑風会

桜井 卓

若者に視点を当てた
取組を

公明党

齊藤 章

北本の将来のための
計画を

北本の 将来を 創る会

永井 司

Q1 子育ての経済的負担の軽減や支援を必要とする子ども・家庭へのきめ細かな取組、特別支援教育の充実等が重点事項になつていませんか

A1 総合振興計画が市の最上位計画であることに鑑み、当然すべての事業をしっかりと実施していく必要があります。

Q2 市内公共交通の確保について、福祉有償運送や住民同士の互助による輸送の想定が見当たらぬ。市が施策として実施するのはバス、デマンドバス等の公共交通の確保に限定されるのか

A2 従来からある公共交通だけでは市民の円滑な移動につながらないことから、新たな交通手段の検討も必要であり、移動に不可欠な道路の整備、駐輪場の確保なども重要と考えています。

Q1 「若者」の視点をどのように基本計画に反映させたのか

A1 定住人口の維持及び交流人口・関係人口の増加の住み続けたまちづくりに「子ども・若者へ手厚いサポート」を位置づけ、「こども・若者の明るい未来を応援するため、それぞれの状況に応じたきめ細かな支援を行う」とことで、若者に対する市の方向性を明確にしました。

Q2 自治体DX推進について、基本事業への位置づけ、また、どのように推進していくのか

A2 デジタル技術を活用した業務改善による、市民の利便性の向上と業務の効率化を目指し、個別計画であるDX推進方針を改定し、マイナンバーカードの普及促進、A-Iの活用、デジタル人材の育成、デジタルリテラシーの向上などの取組を実施していきます。

Q1 若者の市政への関心が低い中、計画にどう盛り込んだのか

A 住み続けたいまちづくりを行っています。このため、若者をターゲットとした取組により、まちへの愛着度の向上や社会増といった一定の成果を挙げてきた「シティプロモーションの推進」に引き続き取り組むとともに、こども・若者の明るい未来を応援するため、それまでの状況に応じたきめ細かな支援を行い、関連する施策や基本事業に取り組んでいきます。

討 論

「議案第74号」第六次北本市総合振興計画前期基本計画について

賛成討論（公明党 斎藤 章）

若者という視点をどのように反映させたのかでは、住み続けたいまちづくりの中に、こども・若者への手厚いサポートをするとし、こども・若者の明るい未来を応援するためそれぞれの状況に応じたきめ細かな支援を行うとしたことを評価します。また、重層的支援体制の整備について、相談体制の充実を継続し、地域社会とのつながり、地域の支え合う体制の充実を新たに位置づけ、更なる整備を進めるとあり評価します。



賛成討論（みらい 毛呂一夫）



総合振興計画は、市の最上位計画であり、行政運営のバイブルです。この基本計画は、基本構想－基本計画－実施計画と続く計画全体構造からみると第2層目の計画となり、必要な施策の具体化計画のことですが、一部概念的であり、次の実施計画提示が待たれるところです。しかしながら、北本市の全体像が多方面に渡って緻密に分析されており、かなり練り込まれた計画案と考えられます。北本市の将来をこのバイブルに託すに足ると判断して、賛成とします。

賛成討論（日本共産党 中村洋子）

第五次総合振興計画を継続しながらも、社会情勢の変化に対応して第六次計画では「市民との協働による持続可能なまちづくり」から「みんなの力で築く、誰にとってもやさしいまちづくり」とした理由について施策の中から8項目の質疑をしました。市民の声を聞き丁寧に回答されたことに、今後の施策に期待と、財政的負担軽減による子育て支援の充実を願い賛成討論とします。



賛成討論（清和会 岡村有正）



本市も人口減少・少子高齢化の進行、それに伴う税収減少や社会保障費の増加、公共施設の老朽化等の様々な課題に直面しています。第六次計画は、子育て支援や地域福祉の充実、防災・消防の充実、シティプロモーションの推進や自然環境の保全など市民生活に直結する施策を具体的に示しています。行財政面でも限られた資源を効率的に活用し、優先順位を明確にした現実的で持続可能な仕組を備えた妥当な計画であると考えられることから賛成とします。

賛成討論（緑風会 桜井 順）

子育ての経済的負担の軽減、支援を必要とするこども・家庭へのきめ細かな取組の充実の3事業、人権意識の高揚などが重点項目から外れたことは、極めて遺憾です。学校教育の充実に係る成果指標は前回と同じ「学力が伸びた児童・生徒の割合」とすべきでした。指標や目標値の設定には課題が多いです。本市の第二の拠点である二ツ家地域に対する施策や事業がないことは不十分です。今後の予算・決算審査や一般質問でしっかりと確認していきます。



各委員会で先進地を視察しました



各委員長報告は
こちらからご覧になれます



総務文教常任委員会 ▶▶▶ 10月1日～3日

奈良県生駒市 ▶「グッドサイクルいこま」について

大阪府貝塚市 ▶学校再編の取組について

大阪府池田市 ▶「教育日本一のまち」条例に基づく市の教育方針と小中一貫教育について



奈良県生駒市は、シティプロモーション「グッドサイクルいこま」の活動を中心にシビックプライド醸成を推進しており、北本市のシティプロモーション事業との共通点が多くある。大阪府貝塚市と大阪

府池田市では、共に「施設一体型9年間義務教育による学校再編」を進めており、中1ギャップの改善、児童生徒の社会性醸成を推進させている。北本市は、4・3・2制の分離型一貫教育を推進中である。

健康福祉常任委員会 ▶▶▶ 11月5日～7日

神奈川県横須賀市 ▶終活支援体制整備について

愛知県尾張旭市 ▶あたまの元気まる事業(認知症予防)について

静岡県島田市 ▶高齢者eスポーツ教室事業について



横須賀市では死後に遺骨の引き取り手がないという社会課題に対応するための2事業を実施し、効果を挙げている。尾張旭市の事業は、認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)のリスクを本人が把握し、生活習慣の改善を通じて認知症予防行動を促すこ

とを目的としており、VR機器を導入することで、より気軽な短時間での検査を可能にした。島田市では高齢者の健康維持のためeスポーツを推進している。今年度より本市でも開始した事業について、運用の課題や利用者拡大の工夫などを学ぶことができた。

建設経済常任委員会 ▶▶▶ 10月1日～3日

静岡県菊川市 ▶菊川市産業支援センターEnGAWAについて

愛知県春日井市 ▶MaaSを活用した新しいモビリティサービスの導入について

大阪府大東市 ▶「北条まちづくりプロジェクト(morinekiプロジェクト)～公民連携によるエリアの価値を上げるまちづくり」



菊川市での地域産業の担い手不足、事業継続の停滞等の解消のために作られた官民連携型の新しい支援拠点は、創業支援や企業支援の在り方について参考となる事例であった。春日井市のモビリティサー

ビスでは、本市でもMaaSを活用した柔軟な移動支援の可能性を検討すべきことを学んだ。大東市のまちづくりプロジェクトでは、公民連携とエリアマネジメントの視点が欠かせないことが参考となった。

議会運営委員会 ▶▶▶ 8月5日

東京都八王子市 ▶議会改革について



八王子市では、委員会が自主的に調査事項（テーマ）を設定のうえ調査を行い、行政執行の監視機能の充実及び専門性を發揮した政策提案や提言を行う委員会所管事務調査を実施している。令和3～6年度に4常任委員会から9件の提言が行われた。また委員会において、論点・争点を明確にして委員同士

で討議を行う委員間討議を実施している。委員会活動のより一層の活性化に向けて、本市でも議会改革に取り組んでいきたい。

質疑をしました

各委員長報告は
こちらから
ご覧になれます



予算決算

増、寄附金額は7億2774万5
000円で前年同期比51・3%増
となっています。



ふるさと応援基金は、寄附者に選んでいただいた8つの分野ごとに積立・活用しています。

令和7年度北本市一般会計補正予算（第6号）

A **C** **D** **E** **F** **G** **H** **I** **J** **K** **L** **M** **N** **O** **P** **Q** **R** **S** **T** **U** **V** **W** **X** **Y** **Z**

A Q
流域下水道建設負担金に関する
て、補正が必要となつた経緯は
令和7年1月、八潮市で下水
道管路の破損に起因する道路陥没
事故があり、埼玉県管理の流域下
水道管の緊急補修の負担金です。
桶川市汚水処理場から元荒川幹線
に熊谷幹線が合流する箇所までの
約20キロメートルのうち、平成6
年度以前設置の管径2メートル以
上の管を調査し、3箇所の修復が
必要となつたための工事費です。

A 令和7年10月からふるさと納税ポータルサイトによるポイント付与が廃止となることを受け、9月末までに駆け込み需要が発生し、前年度比で大幅な収入増となつたため、1億円の増額補正を行うこととした。令和7年4月1日から11月24日までの寄附実績は、6006件で前年同期比57・2%

して支給する対象者が多かつたため、見直しが必要となりました。また、改正により、第3子算定対象年齢が高校生年代から大学生年代まで拡大されたことで第3子の適用について想定以上に対象者が増加したことも影響しています。

令和7年度北本市公共下水道 事業会計補正予算（第1号）



令和7年度の学校体育施設利用登録団体は59団体で、屋内運動場の利用は37団体です。

北本市立学校屋内運動場 夜間開放使用料条例の 一部改正の Point //

小・中学校屋内運動場に空調設備等が設置されることに伴い、使用料の改定（夜間利用1回につき200円）や空調設備使用料の新設（30分につき500円）などを行います。令和8年4月1日から開始します。

教文委員會

ではなく、生涯スポーツの推進を目的に様々な登録団体が利用しやすい環境を整えるためのものです。

Q1	各体育館の必要経費が異なっているが、最少額の経費に基準を合わせる理由は
A2	<p>照明の照度や空調の温度など、利用水準は同一に設定しています。学校が使用しない時間に固定して利用いただく施設であること、生涯スポーツの推進を図る観点も踏まえ、試算した料金のうち最低額を基準としたものです。</p> <p>改正は特定の団体を優遇するものではないと理解してよいが、特定の団体を優遇するもの</p>

込みによる電源確保を予定していくところ、宮内中学校のみ必要電力が容量を超えることが判明したため、学校全体の受電設備を経由する方式へ変更し、変電設備の増強及び配管・配線工事に係る費用1550万6700円の増額が発生しました。一方、契約仕様に基づき事業者から減額提案があり、318万6700円の減額となりました。結果として、差引1232万円の増額が必要となつたものです。



各常任委員会でこんな



子ども誰でも通園制度は0歳6か月～満3歳未満が対象で月10時間まで保育所等を利用できます。

今回の条例の一部改正の

Point

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、子ども誰でも通園制度に係る運営基準及び認可基準を定めるものです。この事業は令和8年度より全国で開始される制度です。



健康福祉

北本市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び北本市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

Q1 こども誰でも通園制度の利用までの流れ及び利用開始までに要する期間について

A1 希望者には利用認定申請をしていただき、その後、中央保育所での事前面談において、子どもとの状況や特性を確認します。面談の結果、安全に利用できると判断した場合には、インターネット予約システムを通じて利用日を予約

いただきます。利用開始までの日数については、今後制度を本稼働させていく中で、できる限り短縮するよう進めていきます。

Q2

実施施設を中央保育所のみとした理由は

A2 市内の幼稚園協会及び保育園協会からは、国の補助金や給付金の詳細が示されていない状況にあり、自施設の費用負担分が不明な中での実施は困難であるとの意見がありました。まずは公立保育所で実施し、情報提供を行うことで、順次民間施設でも展開していくべきだと思いました。まずは公立保育所は一時保育や病後児保育事業の実施に加え新たな事業の実施は困難な状況で、深井保育所は施設のスペースに余裕がないことから、安らぎ残していく取組の提案でした。

A 市として、雑木林は、なるべく手をつけずにそのままの形で残したいと考えています。雑木林の会の提案は、雑木林を将来にわたり残していく取組の提案でした。一方、もう一者は、都市公園として活用するという提案でしたので、雑木林の会の雑木林を守る取組が評価されたものです。また事業として、自然観察会や中学生ボラ



平成4年からJR高崎線沿線に残る雑木林の一部を北本中央緑地として整備を行っています。



建設経済



Q 雜木林の会のどのような事業提案や事業内容が高く評価されたのか

A いて 路線廃止後の売り払い金額について

A 土地の価格は、1平方メートル当たり4万1875円となります。実測後の面積にその金額を乗じて、売り払い金額を算出します。

ンティア教室、雑木林を楽しむ集い等、これまでに親しまれているイベントの実績があり、その点が評価されています。

公の施設の指定管理者の指定の

Point

公の施設の名称

▶北本中央緑地及び下原緑地公園

指定管理者として指定するもの

▶特定非営利活動法人北本雑木林の会

指定の期間

▶令和8年4月1日から

令和13年3月31日までの5年間

提出案件の結果一覧（12月定例会）

議案名		議決結果
市長提出議案	「第74号」第六次北本市総合振興計画前期基本計画について	可決
	「第75号」専決処分の承認を求めることについて（北本市印鑑条例の一部を改正する条例の一部改正について）	承認
	「第76号」北本市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び北本市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
	「第77号」北本市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
	「第78号」北本市立学校屋内運動場夜間開放使用料条例の一部改正について	可決
	「第79号」公の施設の指定管理者の指定について（北本市総合福祉センター）	可決
	「第80号」公の施設の指定管理者の指定について（北本市立ふれあいの家）	可決
	「第81号」公の施設の指定管理者の指定について（北本市立児童館、北本市立こども図書館、北本市子育て支援センター及び北本市北本駅子育て支援センター）	可決
	「第82号」公の施設の指定管理者の指定について（北本中央緑地及び下原緑地公園）	可決
	「第83号」市道の路線の廃止について	可決
	「第84号」工事請負契約の変更契約の締結について	可決
	「第85号」令和7年度北本市一般会計補正予算（第6号）	可決
	「第86号」令和7年度北本市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
	「第87号」令和7年度北本市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議員提出議案	「第8号」北本市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決

賛否表（賛否が分かれたものや、退席などがあった場合に表示しています）

議案名	議決結果	みらい										北本の将来を創る会				公明党		日本共産党	清和会	緑風会	
		小久保博雅	毛呂一夫	金森すみ子	村田裕子	工藤日出夫	大嶋達巳	青野康子	高橋誠	永井司	現王園孝昭	諫訪幸男	斎藤章	保角美代	島野和夫	湯沢美惠	中村洋子	岡村有正	滝瀬光一	桜井卓	今関公美
「議案第78号」北本市立学校屋内運動場夜間開放使用料条例の一部改正について	可決																				x

※表の見方 賛成：空欄 反対：× 欠席：欠 除斥：除 退席：退

議員提出議案とは？

地方自治法では、予算を除いて条例などの議案を議員・委員会が提出する権利を定めています。議員が提案するものと、委員会として提案するものがあります。

議員提出議案→「議提第〇号」
委員会提出議案→「委提第〇号」



Q 提出するのに条件はあるの？

A 「議会の議決すべき事件」につき、議案を提出することができます。

議員が提出する場合は、2人以上の賛成者が必要です。

Pick up!

議提第8号「北本市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」を可決

議員19名により議案が提出され、賛成全員で可決されました。

この改正により、令和8年4月1日以降、交通や宿泊に係る議員の旅費は、北本市職員と同じ基準で運用されます。

＼議会改革特別委員会の中間報告！／

令和7年第4回定例会において、審査経過の概要を報告しました。

令和7年10月7日～12月12日まで6回の委員会を開催し、第6回～第8回までの会議では、議会モニター制度の認知度の向上や議会活動の発信機能の強化が課題として挙げられました。また、ホームページや広報紙等を活用した周知の徹底に加え、SNSを既存の広報媒体と連携させることで、従来以上に情報発信力を高めることが可能であるとの意見が出され、今後はSNS運用に関する基本的なルールの策定や具体的な運用方法の整理を進めていくこととしました。

第8回～第10回までの会議では、議員定数及び議員報酬について、単一の方式に依拠するのではなく、多角的に検討する必要があるとの認識を共有し、1月17日に開催予定の市民を交えた「議会改革に関する意見交換会」を経て、議会改革特別委員会として具体的な方向性を整理することを確認しました。

引き続き、調査研究及び議論を深め、継続審査を行っていきます。

- 10/7 第6回 議会モニター制度の充実について
- 10/17 第7回 議会活動の発信機能の強化について
- 11/4 第8回 議会活動の発信機能の強化について
議員定数について
- 11/17 第9回 議員定数について
- 12/2 第10回 議員報酬について
- 12/12 第11回 閉会中の継続審査に関する件について
中間報告の申し出について



議員研修会(ファシリテーション研修)を開催しました!

令和7年11月18日、全議員を対象としてファシリテーション研修を開催しました。ファシリテーションとは、集団で課題を解決するために、相互理解を促し、認識を一致させるサポートのことを目指します。講師には一般社団法人地方公共団体政策支援機構の渡辺太樹氏をお招きし、全国約20の自治体で政策アドバイザー・議会アドバイザーとして培われた豊富な経験に基づき、「議会が身につけるべきファシリテーションとは」を演題に研修を行いました。研修はワークショップ形式で実施され、議員間討議における実践的なポイントについて学ぶことができ、大変有意義なものとなりました。



議会改革に関する意見交換会を開催しました!

1月17日、文化センターにおいて「議会改革に関する意見交換会」を開催しました。

当日は多くの市民の皆様にご参加いただき、本市議会のあり方の根幹となる「議員定数」と「議員報酬」について、活発な議論が行われました。

皆様からいただいたご意見を一部ご紹介します。



市民の多様な困難に目を配るために
には一定の定数確保が不可欠だと
思う

議員という職を「魅力ある選択肢」
にするための報酬設計が必要では
ないか



\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています



たかはし まさと
高橋 誠
(北本の将来を創る会)



防災庁の誘致について

Q1 要望の経緯及び3市（鴻巣市、桶川市、北本市）の要望になった経緯は

Q2 埼玉県内において他の自治体より要望が遅れたことで取り扱いに変化があるのか

Q3 国に対し要望書を提出した時の現地での状況について

Q4 防災庁の設置に向けた時期（令和8年11月1日）が示され、3市として再度要望にいく予定はあるのか

Q5 3市において設置場所の青写真はできているのか

A 鴻巣市が中心となり内閣府防災監に対し要望を行い、設置を要望する理由として5つの項目で説明し、立地にふさわしい場所であることをPRしてきました。県として取り扱いに違いが生じるとは考えておらず、今回の要望活動をもって一先ず終了しており、本圏域内において設置に最も適している場所は未定です。



もろかずお
毛呂一夫
(みらい)



公共交通について

Q 地域公共交通会議開催について伺う

A 法定協議会の機能を有した地域公共交通会議の開催はこれからですが、従来の地域公共交通会議を令和7年10月に開催し、「北本市地域公共交通計画の策定に向けて」という議題の中で、市民や利用者等を新たに委員として迎えることとしました。東西を結ぶ交通手段やバスの既存路線の延伸等については、地域公共交通計画の策定の中で

調査・分析・検討していきます。

桜の木の害虫駆除について

Q 個人宅とマンション・アパート・事業所内の桜の木の対応について伺う

A クビアカツヤカミキリ駆除の個人宅支援として、各家庭1世帯につき年度1本殺虫剤の配布を行っています。今後も、市民や自治会、事業者、寺社等の対策費用について県の補助金等を活用し、より効果的に市内の防除を推進していきます。



むらたひろこ
村田裕子
(みらい)



地方版ハローワーク創設を

Q 地方版ハローワーク創設自治体が増えている。高齢者や障がい者、女性、生活困窮者等、人材発掘による介護や保育等へのマッチング、移住促進、地域産業振興等に効果があるのであれば

A 国のハローワークの就職率よりも、地方版ハローワークの方が高い状況です。まずは商工会等と連携し市内事業者の人材不足の現状把握に努めます。

補聴器調整に補助金交付を

Q 補聴器の調整に対する支援は

A 効果的な制度設計を検討します。

お笑いによる地域活性化を

Q お笑いによる地域活性化を図る自治体が増えている。三重県四日市市や福岡県太宰府市等は市長自らM-1に出場し知名度向上に貢献している。是非市長も出場しては

A 公務の傍ら私がM-1に出場できるか分かりませんが、今後も北本市の賑わい創出や知名度向上に取り組みます。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています



湯沢美恵

(日本共産党)

**食品ロス対策について**

Q 食品ロスのほとんどが生ごみとして廃棄されている。姫路市で取り組んでいる食品ロス削減アプリの導入を求める

A 姫路市では食品ロスマッチングアプリ「タベスケ」を活用して、賞味・消費期限が近いなどの理由で売り切りたい商品のあるお店と、お得に購入したい利用者を効果的につなげています。

「タベスケ」の活用事例を参考に削減の取組について検討を行います。

持続可能な農業への取組について

Q 優良農地の集積を進めているが、集積困難な農地を市民農園として貸し出すマッチングについて伺う

A 市民農園として活用することは遊休農地の解消に効果的な手法です。農地所有者から市民農園の活用の相談があった場合、開設者と利用者とのマッチングにつながるものと考え、市のホームページを活用し、農園の情報を発信する準備をしているところです。



中村洋子

(日本共産党)

**職員の働き方について**

Q 職員の働き方について伺う

A 令和7年10月1日から、平日は8時30分から17時15分までの窓口受付時間を8時45分から16時30分までと1時間短縮するとともに、土曜開庁は8時30分から正午までのところを、8時45分から11時45分までと30分短縮しました。窓口受付時間の変更は、短縮した分の時間を有効に活用することで、業務の効率性を高め、一層の市民サービスの

向上につなげることを目的としています。変更から2か月が経過した現時点の各課の変化を挙げると、書類作成などの性質の異なる業務に集中して取り組む時間が確保されたほか、この時間を使い、業務ミーティングや引継ぎ、業務フロー等の見直し作業を行えるようになりました。業務改善の副次的な効果として、職員の時間外勤務の削減や、働き方改革の推進につながるものと考えています。



青野康子

(北本の将来を創る会)

**ごみカレンダーについて**

Q1 外国人への対応はどのように行われているか

A1 現在、英語、中国語、韓国語、ベトナム語のごみカレンダーの多言語版をホームページに掲載するほか、環境課窓口で配布しています。令和8年度にはネパール語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語版を追加し、8か国語対応となります。

Q2 地域を守る自治会長への情報共有

はいかがか

A2 今後、自治会長説明会にてお知らせしていきます。

ポスティングについて

Q 広報紙と一緒に配布される令和8年度のごみカレンダーだが、広報紙を希望されない方への対応は

A 市役所や各公民館等での配布、ホームページでも確認いただけます。

その他の質問

○市民農園について

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

かなもり
金森すみ子
(みらい)

地域医療の維持へ向けて、市は積極的な関わりを

Q1 市から医療機関への体制支援は

A1 市内の病院で分娩に携わった産科医への手当支給支援を行い、処遇改善及び定着を図っています。近年、市内の産科医配置数はやや増加して、全国と同程度となっており、一定の効果があるものと考えています。また、近隣市町と共同で、医師会や同会准看護学校の運営を補助し、医療維持や人材確

保に寄与する支援をしています。

Q2 救急や日頃の医療へ市の関わりは

A2 市、医師会、各医療機関が緊密に連携をしながら、医療確保の取組を行っています。特に救急医療は、近隣市町と共に、初期救急及び二次救急について、円滑な診療体制の確保に向けて着実に整備しています。また、健診や予防接種の実施などについても、それぞれの役割を担い、互いを支えながら事業を実施しています。

こくぼひろまさ
小久保博雅
(みらい)

不登校児童生徒に対する対応について

Q1 学びの多様化学校に対してどのように考えているのかについて伺う

A1 学びの多様化学校は、授業時数や学習内容など特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校であり、様々な理由から不登校となっている児童生徒に対し、多様な学びの機会を保障するための重要な制度的選択肢の一つであると認識しています。

Q2 学びの多様化学校の試験的導入を

含め、本市で設置していく予定があるか伺う

A2 本市で設置する場合、新たな施設や専門人材の確保、学校としての教育課程の整備など、多くの条件を整える必要があることから、本市の規模や実態を鑑みますと、すぐに設置を見通せる状況にはないと考えています。引き続き本市の実情に即した形で、子どもたちの学びをしっかりと支えていきたいと考えています。

さいとう
斎藤 章
(公明党)

防災対策について

Q1 感震ブレーカーの周知について

A1 感震ブレーカーは、地震発生時に一定規模以上の揺れを感じると、ブレーカーを自動的に落として電気を遮断し、停電復旧時に発生する電気に起因する火災防止策として有効です。首都直下地震緊急対策推進基本計画では、感震ブレーカー等の普及促進が求められています。周知については、市ホームページ、出前講座等の機会を捉

え、普及啓発に取り組んでいきます。

Q2 狹隘道路の拡幅整備について

A2 火災や地震などの災害時、道路幅員が狭く緊急車両の通行が困難となる道路の存在は、市も認識しています。火災の際には、消火活動や救助活動などに支障を来す恐れがあることから、消防当局で、市内各地区の路線を消防車両等が通行可能な路線か、調査・確認を行うなど、緊急時の活動に支障を来すことのないよう備えています。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

ながい つかさ
永井 司

(北本の将来を創る会)



ネーミングライツの導入へ

Q 体育センターへの導入はどうか

A 体育センターは、令和6年度に、特定天井等改修工事が終了しています。また、市民の日常的な運動利用だけでなく、大会やイベント開催、プロスポーツチームにも利用されており、利用者数については、令和4年度は16万3,600人、令和5年度は17万5,397人、令和6年度は12万7,681人と、近隣の体育施設と比較しても遜色ない利用者

数であるため、ネーミングライツの可能性は、十分にあるものと考えています。今後このような状況を踏まえ、体育センターも含め、市の公共施設について、広くネーミングライツの導入の可能性を検討していきます。

その他質問

- 隠れ待機児童について
- 飲食店を盛り上げる施策について
- 北本市役所の利活用について
- スポーツ推進施策について

さくらい すぐる
桜井 卓

(緑風会)



久保特定土地区画整理事業の計画

変更について

Q1 残事業費とそのうち市負担分はいくらくらか

A 1 令和8年度以降の区画整理事業分の残事業費は55.2億円で市負担分は26.8億円です。

Q2 南部地域整備基金や市債を活用することで、財源について明るい見通しが立ってきたのではないか

A 2 そのように考えています。

ゾーン30規制の実施について

Q 市街化区域内のJR高崎線西側の南大通線より南側の区域でゾーン30規制が実施されていない。南小通りの東側だけでも先行してゾーン30規制を実施すべきではないか

A ご指摘の区域のエリア指定について警察と協議します。エリア指定の協議には時間を要するため、その間は安全点検の結果等を踏まえて交通安全対策を実施します。

しまのかずお
島野和夫
(公明党)

空き家・空き地対策について

Q 現状と課題解決の取組について

A 平成25年に1,000戸だった空き家は令和5年には1,480戸と、10年間で約1.5倍に増加しました。管理不全な空き家は、所有者を調査し適切な管理をするよう通知したうえで、改善が見込めない場合、条例による是正指導を行います。相続人不存在や相続放棄等は、親族調査を行い協力依頼しています。

北本団地の再生について

Q 団地内に医療施設を整備できないか

A 団地内の医療機関の廃業は、高齢化が進んでいる地区もあり、不便も高くご不便なことと推察します。一方で、市が直接特定の地域に対し医療機関を誘致することは、他の医療機関の経営における公平性を損なうおそれもあるため、非常に難しいところです。

その他質問

- 引きこもり支援について
- 奨学金返還支援について

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています



いませきまさみ
今関公美
(緑風会)



誰もが安心して暮らせる北本市になるために

Q1 下石戸踏切拡幅に伴う現状と課題について伺う

A1 歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に支障を来している状況から、市道の拡幅整備と併せて踏切の拡幅を進めています。踏切部分については令和6年より着手し、令和8年1月下旬頃に完成の見通し、今年度は踏切の東西約20mの区間の歩道整備を行う予

定です。

Q2 踏切から西側の100mは安心して通れる歩道が出来ているが、その先は歩道が無く車道に出なければならず危険な状態のため、部分的に整備を完了した歩道の安全対策について伺う

A2 危険な状態であることを認識しているため、早急に歩道の整備が完了した区間から未整備区間への歩行者の動線の見直しなどを実施し、歩行者が安全に通行できるよう対策を行います。



くどうひでお
工藤日出夫
(みらい)



総合教育会議について

Q1 総合教育会議への認識と特に重視している教育行政の課題は

A1 本市が直面している重要な教育課題の一つとして、小中学校をはじめとした教育施設の再編が必要であることが挙げられます。

学校規模の適正化や公共施設の再編を進める中で、教育環境の充実を図る必要があり、今後本格的な議論が必要です。

Q2 市長は総合教育会議で「自律」を重視する発言をしているが、学校現場ではどのようにになっているか

A2 市内小学校では、子どもたちが自ら考案した給食の献立を栄養士に提案を行い、採用された取組がありました。また、中学校では、自身の学校の課題解決に向け、各学級で課題意識を持ち、意見を出し合い、比べ合い、他者と折り合いをつけながら合意形成につなげる学級討議を行っています。



おおしまだつみ
大嶋達巳
(みらい)



さんた亭について

Q1 さんた亭は地域食材供給施設だが、地域食材とは何か

A1 地域食材とは、北本市で栽培された新鮮で安全、安心な食材を指します。

Q2 そばの北本市産の割合は

A2 令和6年度で約43%です。

Q3 施設本来の趣旨に合わなくなっているのではないか

A3 使用する北本市産そば粉の割合が

半数以下になっているため、農事組合法人北本そば組合に対し、安定供給が図られるようお願いしていきます。

Q4 そばの供給は増やせるのか

A4 同組合が、市の転作奨励作物であるそばの栽培を行っており、地産地消の取組として生産を続けています。生産量の拡大や生産コストの低減については、その対応に向けたお願いをしているところです。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

すわ ゆきお
諏訪幸男

(北本の将来を創る会)

**桶川市、北本市、鴻巣市の合併の必要性について****Q 3市の合併の必要性について****A** 合併は一手段ですが、本市は利便性等を考慮し単独運営で広域連携等により持続可能なまちづくりを推進します。**上尾道路延伸に伴う桶川北本インター・チェンジ周辺の開発について****Q 企業誘致の考えはないのか****A** インター・チェンジ周辺は農地法などの制限を受けるため、台原地区及び中

丸南地区の土地利用を図ったうえで、上尾道路の開通に合わせて、土地利用が進められるよう取り組んでいきます。

市街化調整区域の現状と課題について**Q 農業の継続の課題について****A** 農業者の高齢化や後継者不足により、家族内の継承が困難となるケースが増加しています。農地の集約や農地を円滑に貸借する制度の活用、さらには新規就農者への研修など、就農しやすい環境づくりを推進していきます。おかむらありまさ
岡村有正

(清和会)

**学校図書館の現状と課題について****Q 司書教諭と図書館指導員との連携の現状と課題について伺う****A** 購入図書の選書や図書廃棄、イベントの企画運営、関連委員会活動の指導、市立図書館からの図書資料借受け等の業務で連携しています。課題として、司書教諭が学級担任や教科等の指導もあり、図書館指導員との打合せ時間をうまく取れないことが挙げられますが、書面や管理職を通じ情報連携を行

行うことで対応しています。

自治会組織・活動への支援について**Q 自治会運営の効率化のためのデジタル回覧板等の導入について伺う****A** デジタル化は、紙回覧板や掲示板の代替、自治会内の情報共有の効率化や迅速化、市との連絡調整の合理化が期待できる一方、不慣れな会員へのフォローが必要となり、また自治会活動では対面での交流も重要です。今後ニーズの把握に努めています。たきせこういち
滝瀬光一

(清和会)

**高齢者福祉（認知症施策の推進）****Q 認知症対策として、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）を早期に発見し対応するため、VRを使用した脳の健康チェックテスト導入について****A** 継続的な指導相談体制の整備、また、医療機関との連携を図る必要があるため、実施後の体制も含め、先進自治体の状況を調査していきます。**民生委員・児童委員****Q 担い手不足や負担軽減及び新たな地****域福祉の担い手となる人材育成のための民生委員協力員制度の導入について****A** 北本市民生委員・児童委員協議会と協議しながら検討していきます。**その他の質問****○子育て支援サービスの充実（子育て世帯訪問支援・地域子育て支援拠点・児童育成支援拠点）について****○高齢者福祉（介護予防及び健康づくりの推進）について****○道路・交通安全施設の整備について**

